

キャンパス・附属病院だより

大学院医学研究科

本郷・お茶の水キャンパス医学部事務室

事務長事務取扱者 阿部 弘明

2. 外国籍住民に向けた認知症サポーター養成講座開催

執筆者:大学院医学研究科医療通訳 大野 直子

医学研究科修士課程ヘルスコミュニケーション(医療通訳)学位プログラムのカリキュラムの一環として、11/16(土)に外国籍の住民の方々に向けた認知症サポーター養成講座を、東京都江東区にあるURコミュニティ(北砂五丁目団地)で開催しました。

この講座は、順天堂東京江東高齢者医療センター内の認知症疾患医療センター相談員(精神保健福祉士)の矢村圭介主任が主催し、本学大学院医学研究科で医療通訳を学ぶ修士課程2年生の小林京子さんと三田万理子さんが日本語を話せない外国人患者と医師とをつなぐ通訳を担当しました。医学研究科医療通訳の特徴は①1年次前期で医学知識、②後期で通訳実践、③2年次で医療チームの中での通訳の役割を学ぶ、という段階的なカリキュラムになっていることです。2名とも入学時は医療通訳の経験がありませんでしたが、医療通訳学位プログラムで学ぶ過程で医学知識と通訳者としての実践力を習得し、通訳者として現場で勤めを果たせるまでに成長を遂げました。

外国籍の方が当たり前に暮らす地域の中で、高齢者支援を担う教職員が始めた取り組みの第1歩に、語学面から本学の大学院生が関わらせていただいたことを光榮に思います。大学院生たちの今後の活躍に期待しております。



医療現場の寸劇を通訳する大学院生(右)



左から、三田万理子さん、小林京子さん



大学院医学研究科ホームページ

<https://www.juntendo.ac.jp/academics/graduate/med/>